

ステファニー・リッツ  
JAPN 3 2 0 S

### サービス・ラーニングリフレクション

このサービス・ラーニング授業に放課後のプログラムで参加しました。サイトで四と五年生に日本文化と日本語を紹介しました。このサービルの経験のおかげで、ボランティアのことの価値を理解するようになりました。それと、体験に私が子供のことを我慢できて教えにあげられると学ばれました。この学期のテーマは自分自身について学び、発言についてだったようです。これはまた、この国の社会問題の意識になることに主要なポイントだと思います。

このクラスの初めに、ホイール・アイデンティティ・ワークシートを書いて、私にどんなアイデンティティの態様が重要と評価しました。最近、私の社会意識が広がっているので、一度に私は自分の性別と個人的信念の非常に意識していました。女性として、私たちは、暴力に対してより脆弱であると非難され、そしてそのような事項のサポートをほとんど受けません。私の信念について、サービス・ラーニングが「安全なところ」にもかかわらず、私はまだ認識し、不快なシェアをした判断とバックラッシュを恐れていました。しかし、米国で白人とパワーにグループの一部であるように私に利点ももらいます。私は、教育、雇用、および司法がもっとアクセスを持っているのが、個人的に他人を過小評価したくないです。この支配的なグループでは誰もが他人を過小評価しようとしていますが、しかし、誰もが利点ももらいます。また、このグループの一部として、よく利点を見られなくて、私の経験は非常に違うと知っています。だから、リスニングと共感が重要だと思います。従って、私は男性が危険や教会のインスティテューションの考えのように、人々についての仮定ができます。ただし、私はすぐに人間

性に集中して考えます。皆は人間だから、もちろん別の経験があっても、人間性のほうが大事だと思います。そのように思いやりするべきです。

人間関係に、グループはサポートと目的をあげながら、個々は、グループに新しいものをもつのが重要だと思います。コミュニティは一緒に機能しようとしている多くの異なるグループです。そして、これらの多くのコミュニティは社会全体を作成します。グループが大きくなると合意に達することがもっとむずかしいになります。しかし、理想的な世界では、個人主義社会でも、集産社会でも、社会全体のためにスキルを使用するべきです。何かを学んだら、それを決して忘れられません。これは責任と大義名分に同じだと思います。個々のレベルでは、私は世界に良いことを追加する責任があります。コミュニティで仕事したには、子供たちに学ぶ機会を与えます。個人として、私は他の人のためのモデルとなれます。教育者では品質、感度等が重要です。短期間には私がサービスをしています。長期間には、私が彼らの将来のために子供たちにツール、関心、そしてインスピレーションを与えています。外国語教師として、外国語を教えたら、我々はまた、他の教科を改善しています。

異文化と国際的なコミュニケーションのために外国語教師として、言語を教えるだけではなく、文化を教えなければなりません。5Cを使用して、言語のクラスは暗記や単語を教えて、批判的思考にも与えます。他の科目に利益があるので、外国語教師はスコアと国際的な地位と理解を向上させるために、学校で増加したカリキュラムを推進する必要性を持っています。

学期の初めにコミュニティスキャンは、人口やコミュニティの必要性が私の理解に重要でした。CPYが自分のプログラムに私たちを受け入れているという事実は、彼

らが社会や子供に教育が大切になると信じました。学生の大半はスペイン語話し、低所得家庭のヒスパニック背景があります。このように、これらの人口は、彼らが高いレベルの教育にアクセスできないという意味があります。なぜなら、資金不足、サポート、および米国に社会と政治地位が低いからです。そのため、子どもたちの支援と機会を与えてCPYの仕事は、コミュニティにとって重要だと思います。子供たちはバイリンガルですが、差別の所為で利点を見られません。

私は自身の背景とは大きく異なるコミュニティで働いていたので、私のサービスに尊重しようと思いました。最後に読んだサービスの記事は最初のほうが助けてだろう。ぜんぶのコミュニティはサービスがほしくないですよ。だから、始まる前にこのことを知りたかったです。日本文化を教えたながら、子供の文化を学んで比べられました。最初に子供の日本を知ることと知りたいことを聞きました。その答えで私たちのレッスンプランを作りました。

私は支配的のグループにいるから、周縁化なコミュニティで入る時に自分の感情に非常に敏感が必要だと思います。リスニング、同じレベルで話し、そして常に尊重することは、外部のコミュニティで使用するツールです。私の場合は公平性と不正義がなく、好きじゃないですが、私は彼らの利益のために私の力を使用できます。そして、それは最初に彼らがほしいことを聞いて重要です。

社会正義のコミュニティを作ることは簡単じゃないです。しかし、コミュニティのほうが改善やすいと思います。世界的に考え、局所的に行う。社会不公正を直すために、仮定を変更する必要だと思います。一つは、CPYをサポートに続けます。もう一つの方法は学校のためのお金を集められます。個人的には、広いスケールで、私は私の故

郷で放課後プログラムを作って、異文化間コミュニケーションを促進するため、日本社会に理解と関心を開発していくつもりです。